

令和3年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～					
	施策	26 交通安全 ー交通事故のない、安全なまちを目指しますー					
重点プロジェクト							
主管課	都市政策部 道路課	評価責任者			山風呂 敏		
		評価日			令和4年6月1日		
関連課	学校教育課						
目標	事故死者数に占める高齢者の割合が高いことや自転車による交通事故が多いことなどを踏まえ、更なる交通安全対策を進める。また、円滑な通行の妨げとなる放置自転車の解消に向けた取組を引き続き実施する。						
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 交通安全意識の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交通安全の啓発、交通マナーの向上を促進する。 ○スケアード・ストレート教育技法による交通安全教室など、より効果の高い交通安全教育を推進する。 <p>(2) 生活道路の安全対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ゾーン30」など、生活道路における交通安全対策を推進する。 ○安全な自転車通行環境の整備を推進する。 <p>(3) 交通安全施設の適切な維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交通安全施設の適切な維持管理、修繕を実施する。 <p>(4) 放置自転車の解消</p> <ul style="list-style-type: none"> ○放置自転車禁止区域における放置自転車の解消を図る。 						

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策 目 標	指標 1	指標名	自転車事故による負傷者数					
		説明	自転車事故による負傷者数の減少に向けて、警察及び各種団体と啓発活動を実施している。また、交通安全対策として、交通安全施設の修繕及び設置工事を実施した結果、目標を達成した。					
		単位	人					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	164	159	154	149	144	139
		実績値	105	81	61	83		
	指標 2	指標名	ゾーン30の指定箇所数					
		説明	市内の住宅密集地に県警と協力して最高速度を30km/hに規制する区域を新たに指定し目標を達成した。					
		単位	箇所					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	5	5	5	5	5	5
		実績値	5	5	5	5		
	指標 3	指標名	放置自転車禁止区域における放置自転車撤去台数					
		説明	駅周辺に放置された放置自転車を撤去することによって、放置自転車禁止禁止区域の周知されたため、放置自転車撤去台数の減少につながり目標を達成した。					
		単位	台					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	838	797	757	719	683	649
		実績値	727	653	339	552		
	指標 4	指標名						
		説明						
単位								
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標 5	指標名							
	説明							
	単位							
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	163,809	122,189	117,331	123,184	160,359	
	人件費	28,781	28,578	42,367	41,622	41,622	
収入	特定財源	8,162	8,581	9,316	8,670	11,728	
	一般財源	184,428	142,186	150,382	156,136	190,253	

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	交通安全広報活動の実施及び交通安全施設の維持管理	自転車事故による負傷者数の減少に向けて、埼玉県警察及び各種団体と啓発活動を実施した。また、交通安全対策として、交通安全施設の修繕及び設置を実施した。	市役所窓口などで、交通安全運動の啓発品を配布し、市役所周辺道路にのぼり旗の設置を行った。 主な交通安全施設の修繕及び設置の内訳は、道路反射鏡修繕を34箇所、防護柵修繕を36箇所実施し、自転車事故等の防止を図った。	交通安全推進事業（一部）
取組②	ゾーン30の設置	ゾーン30区域指定した箇所の交通安全施設の維持管理を実施した。 市民に向けてゾーン30についての周知・広報活動を行った。 国土交通省に支援をいただき、駒西地区における交通安全施設の効果検証を実施した。	交通安全施設の維持管理を行い、また市民への周知を図ったことにより、ゾーン30指定区域内における重大事故は発生しなかった。 新たなゾーン30の区域指定に向けて、交通安全施設の効果検証することができた。	交通安全推進事業（一部）
取組③	放置自転車禁止区域内の自転車撤去及び市営自転車駐車場の管理運営	上福岡駅及びふじみ野駅周辺に放置された放置自転車の撤去作業を実施した。指定管理者による自転車駐車場の管理運営に係る管理指導を実施した。	放置自転車撤去は、上福岡駅周辺は172日、ふじみ野駅周辺は36日、合計208日実施した。上福岡駅西口の民間自転車駐車場が廃止されたことにより、撤去台数が増加した。自転車駐車場は、指定管理者に対し、適切な管理指導を実施した。	自転車対策事業 自転車駐車場管理運営事業
取組④				
取組⑤				

5. 評価

評価	
指標の達成状況	交通安全広報活動を通じて交通安全意識の向上を図った。交通安全施設の修繕等の実施により自転車事故による負傷者数は減少している。また、自転車利用者への安全対策として、県西部では初となる自転車ネットワーク計画を策定し、この計画に基づき、上福岡駅西口駅前通線について、自転車通行空間路面標示設置工事を実施した。 市内の駅周辺の放置自転車撤去作業を実施することにより、放置自転車禁止区域の周知が図られ、放置自転車撤去台数の減少に寄与していると考えられるが、令和3年度においては、下半期に上福岡駅西口の民間自転車駐車場が廃止されたことにより、撤去台数が増加した。 新型コロナウイルスの感染拡大防止により自転車の利用形態に変化が生じていることから、令和4年度以降は、市内の自転車利用の在り方について検証するために、放置自転車台数の動向の検証や、市営自転車駐車場の在り方について基礎調査を行う。
順調	
行政資源の活用	
適切	
取組の有効性	
有効	
施策の効果	
効果が得られている	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		交通安全推進事業	前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	26 交通安全 –交通事故のない、安全なまちを目指します–		
予算費目		一般会計 08土木費 01土木管理費 02交通安全対策費		
所管部課		都市政策部 道路課	評価責任者	宮崎 光隆
事務事業期間		平成21年度～	評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		・道路交通法 ・ふじみ野市自転車の安全な利用の促進に関する条例		
事務事業の内容	事務事業の目的	交通安全対策を推進し、安全な環境の構築を図ることを目的としている。		
	事務事業の経緯	平成25年に、自転車による交通死傷事故が県下ワースト1となったことから、その対策として市内に「ゾーン30」区域の指定を行っている。併せて、交通安全施設の修繕設置工事を実施している。「ふじみ野市自転車の安全な利用の促進に関する条例」を平成28年10月1日施行した。		
	事務事業の概要	安全な道路交通環境を形成し、交通事故を未然に防止するため、道路照明灯や道路反射鏡などの交通安全施設や路面標示などによる交通安全対策を推進する。 また、ふじみ野市は通勤・通学などで自転車を利用される市民が多く、また自転車事故による死傷者数については県内で上位に位置していることから、県西部では初となる自転車ネットワーク計画を策定し、この計画に基づき自転車通行空間路面標示工事を実施している。		
	令和3年度の主な取組	【交通安全施設の維持管理について】 道路照明灯・道路反射鏡・路面標示などの交通安全施設の修繕及び新設については、現地確認し、必要性を判断しながら実施した。 【自転車通行空間整備について】 平成30年度に策定した自転車ネットワーク計画に基づき、令和3年度は川越街道西側の（都）上福岡西口通線を520m、（都）鶴ヶ丘通線の570mについて自転車通行空間路面標示設置工事を実施した。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	2.00	2.20	2.20
		人件費	16,114	17,486	17,486
	再任用職員	従事人数(人)	0.40	0.20	0.20
		人件費	2,121	1,012	1,012
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		18,235	18,498	18,498	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	34,366	35,750	42,651	
	委託料	2,102	4,520	4,931	
	使用料及び賃借料	18,036	18,036	18,149	
	工事請負費	10,526	16,357	18,000	
	負担金、補助及び交付金	2,657	2,787	2,814	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	18,221	16,866	20,516		
支出合計		104,143	112,814	125,559	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	1,200	680	2,000
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	1,000	600	1,800
		基金	0	0	0
		その他	217	155	167
一般財源		101,726	111,379	121,592	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		888	974	1,043	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員（産休代替等除く）の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	自転車事故による負傷者数の減少		
	説明	自転車事故による負傷者数の減少に向けて、警察及び各種団体と啓発活動を実施している。また、交通安全対策として、交通安全施設の修繕及び設置工事を実施している。（令和2年度から実績数値であることから成果指標に変更する。）		
成果	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	0	149	144
	実績値	61	83	
指標 2	指標名	ゾーン30の設置		
	説明	市内の住宅密集地に県警と協力して、最高速度を30km/hとした区域を指定し、事故防止に努めている。（令和2年度から実績数値であることから成果指標に変更する。）		
成果	単位	区域		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	0	5	5
	実績値	5	5	
指標 3	指標名	加入者		
	説明	交通災害共済への加入者数の拡大を図る。（令和2年度から実績数値であることから成果指標に変更する。）		
成果	単位	人		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	0	2,400	2,600
	実績値	2,181	1,939	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>○交通安全推進事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全施設の設置、修繕 <ul style="list-style-type: none"> 道路反射鏡修繕 34件 防護柵修繕 36件 ・自転車通行空間の整備 <ul style="list-style-type: none"> 上福岡駅西口駅前通線・鶴ヶ丘通線 延長 1,090m ・交通災害共済 <ul style="list-style-type: none"> 加入者数 1,939人 支払い事務件数 19件 ・令和2年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により例年実施している交通安全の街頭活動は中止となったが、交通安全啓発に関する掲示板及びポスターを本庁舎玄関に設置した。 ・さらに、横断旗を交通指導員に配布して立哨時に使用することによって交通安全運動期間中であることの周知を行い、交通安全啓発を行った。 ・また、令和3年度は新たに市役所周辺道路に、交通安全期間中ののぼり旗を設置し広く市民に周知を図った。 ・ゾーン30については、区域指定後の効果検証するために、大宮国道事務所よりETC2.0のビッグデータの解析結果を提供していただいた。 <p>○効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通事故の抑制に努めた。
--------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	交通事故を防止し、市民の安全・安心な暮らしを守るため、引き続き交通安全対策を推進する必要がある。
中長期的方向性	
継続	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		自転車対策事業	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～		
	施策	26 交通安全 –交通事故のない、安全なまちを目指します–		
予算費目		一般会計 08土木費 01土木管理費 03自転車対策費		
所管部課		都市政策部 道路課	評価責任者	山風呂 敏
事務事業期間		平成21年度～	評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律、ふじみ野市自転車放置防止条例		
事務事業の内容	事務事業の目的	放置自転車対策の計画立案を行い、安全な通行空間を確保する。		
	事務事業の経緯	上福岡駅周辺では放置自転車禁止区域を指定していたが、ふじみ野駅西口周辺は放置禁止区域の指定をしておらず放置自転車が多かったため、平成22年10月1日に放置禁止区域の指定を行った。		
	事務事業の概要	自転車の安全利用、また違法に放置され交通の妨げとなり、交通安全に支障をきたす放置自転車を減らすための施策の立案を行う。 主な取組として、放置自転車禁止区域の自転車撤去を行う。 また、自転車の安全な利用について街頭活動や市報など活用し、啓発を行う。		
	令和3年度の主な取組	放置禁止区域の自転車撤去を行った。 また、自転車の安全な乗り方について市報などを活用し、啓発を行った。 なお、令和3年度の上半期においては、令和2年度に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、放置自転車数が激減していたが、下半期においては上福岡駅西口の民間自転車駐車が廃止されたことにより、放置自転車数が増加した。 このため、放置自転車の推移統計が取れていないことから、放置自転車禁止区域の指定や変更に伴う自転車対策審議会は開催しなかった。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.30	1.20	1.20
		人件費	10,475	9,538	9,538
	再任用職員	従事人数(人)	0.30	0.40	0.40
		人件費	1,591	2,024	2,024
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		12,066	11,562	11,562	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	551	188	766	
	委託料	14,214	14,254	24,210	
	使用料及び賃借料	497	497	497	
	工事請負費	2,287	0	13,018	
	負担金、補助及び交付金	7,193	7,295	7,620	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費※	328	216	758	
支出合計		37,136	34,012	58,431	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	382	716	1,261
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	71
一般財源		36,754	33,296	57,099	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		321	291	490	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員(産休代替等除く)の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	駅周辺の放置自転車撤去台数の削減		
	説明	駅周辺に放置された放置自転車の撤去台数の削減を目指す。		
活動	単位	台		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	769	729	689
	実績値	339	552	
指標 2	指標名	放置自動二輪車の撤去台数の削減。		
	説明	放置自動二輪車の撤去台数ゼロを目指す。		
活動	単位	台		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	0	0	0
	実績値	1	0	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>○実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 放置自転車撤去作業 上福岡駅周辺 172日 ふじみ野駅周辺 36日 ・ 延べ撤去台数 上福岡駅周辺 547台 ふじみ野駅周辺 5台 <li style="text-align: right;">合計 552台 ・ 返還台数 358台 返還率 64.9% ・ 処分台数 146台 ・ 保管所管理 平日 245日 日曜 51日 合計 296日 ・ 二輪車等処分台数（原動機付自転車） 0台 ・ 放置自転車回収台数（放置禁止区域外） 37台 <p>○効果</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、放置自転車の台数が激減していた。令和3年度の上半期においては、令和2年度に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、放置自転車数が激減していたが、下半期においては上福岡駅西口の民間自転車駐車が廃止されたことにより、放置自転車数が増加した。</p> <p>しかし、令和元年度と比較した場合、減少傾向にあり事業を継続して実施していることによる効果がでていると考えられる。</p>
------------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	放置自転車の撤去台数は減少傾向にあるが、今後も駅周辺の安全な道路環境を確保するため、放置自転車ゼロを目指し継続して事業を行う。
中長期的方向性	
継続	

令和3年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		自転車駐車場管理運営事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	07 都市整備 ～快適で便利なまち～			
	施策	26 交通安全 ー交通事故のない、安全なまちを目指しますー			
予算費目		一般会計 08土木費 01土木管理費 03自転車対策費			
所管部課		都市政策部 道路課		評価責任者	宮崎 光隆
事務事業期間		平成25年度～		評価日	令和4年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等		自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律、ふじみ野市自転車駐車場条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	上福岡駅西口自転車駐車場・サービスセンター自転車駐車場・ふじみ野駅西口の大井陸橋下自転車駐車場・苗間第1自転車駐車場及び苗間第2自転車駐車場を指定管理者により管理運営し、自転車駐車場を確保する。			
	事務事業の経緯	上福岡駅西口自転車駐車場・サービスセンター自転車駐車場・ふじみ野駅西口の大井陸橋自転車駐車場・苗間第1自転車駐車場及び苗間第2自転車駐車場は、平成25年度から指定管理者制度を導入した			
	事務事業の概要	<p>自転車利用者の利便性を確保するとともに、駅周辺の環境整備に資するため、市営自転車駐車場を設置している。管理運営については、指定管理者が行う。</p> <p>○市営自転車駐車場 ・上福岡駅西口自転車駐車場・サービスセンター自転車駐車場・大井陸橋下自転車駐車場・苗間第1自転車駐車場・苗間第2自転車駐車場</p> <p>○利用料金 ・自転車定期利用：15,000円／年（高校生以下半額）・原付定期利用：25,000円／年（高校生以下半額）・自転車一時利用：100円／回・原付一時利用：200円／回</p>			
	令和3年度の主な取組	<p>市営自転車駐車場の管理運営について、令和2年4月から新たに指定した指定管理者である株式会社高見沢サイバネティックスと月報提出時に報告を兼ねて打ち合わせを行い、適切な管理指導を行っていくよう努めた。</p> <p>○自転車駐車場指定管理者 株式会社高見沢サイバネティックス 指定管理者の指定期間 令和2年4月1日から令和6年3月31日</p>			

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和2年度 実績	令和3年度 実績	令和4年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.30	1.20	1.20
		人件費	10,475	9,538	9,538
	再任用職員	従事人数(人)	0.30	0.40	0.40
		人件費	1,591	2,024	2,024
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		12,066	11,562	11,562	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	6,353	6,418	6,428	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	0	0	1		
支出合計		18,419	17,980	17,991	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	17	19	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	6,500	6,500	6,429
一般財源	11,902	11,461	11,562		
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		104	100	99	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員（産休代替等除く）の人件費も含まれています。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	自転車駐車場収益		
	説明	自転車駐車場管理運営費の収益		
活動	単位	千円		
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値	6,500	6,500	6,500
	実績値	6,500	6,500	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	○自転車駐車場稼働状況（令和2年度）														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>自転車定期利用収容台数</th> <th>稼働率（％）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・上福岡駅西口自転車駐車場</td> <td>530 (530)</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>・大井陸橋下自転車駐車場</td> <td>438 (600)</td> <td>73.0</td> </tr> <tr> <td>・苗間第1自転車駐車場</td> <td>137 (340)</td> <td>40.3</td> </tr> <tr> <td>・苗間第2自転車駐車場</td> <td>364 (450)</td> <td>80.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>※サービスセンター自転車駐車場は一時利用のみであり定期利用は無し。 （ ）内は、収容可能台数</p>		自転車定期利用収容台数	稼働率（％）	・上福岡駅西口自転車駐車場	530 (530)	100.0	・大井陸橋下自転車駐車場	438 (600)	73.0	・苗間第1自転車駐車場	137 (340)	40.3	・苗間第2自転車駐車場	364 (450)
	自転車定期利用収容台数	稼働率（％）													
・上福岡駅西口自転車駐車場	530 (530)	100.0													
・大井陸橋下自転車駐車場	438 (600)	73.0													
・苗間第1自転車駐車場	137 (340)	40.3													
・苗間第2自転車駐車場	364 (450)	80.9													
	○指定管理者の指定状況（今後3年間、過去8年間）														
	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 2年度から令和 5年度まで：株式会社高見沢サイバネティックス ・平成30年度から令和元年度まで：日駐研・高見沢共同事業体 ・平成25年度から平成29年度まで：日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社 														

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	各駅とも民間の自転車駐車場があるが、駅周辺の自転車駐車場として、引き続き市営自転車駐車場の管理・運営が必要である。
中長期的方向性	
継続	